

シーニック萌える天北オロロン

ロードムービー上映

サイクリストの環境向上へ

【留萌発】シーニックパ
イウェイ北海道萌える天北
オロロンルート運営代表者
会議(西大志代表)は24日、
留萌市中央公民館で自転車
日本縦断ロードムービー



「Start line」
上映会を開催した。関係者
約60人が参加。サイクル
ツーリズムのより一層の推
進に向け、上映会のほか、
同映画の今村彩子監督と西
代表のトークイベントを
行った「写真」。

同会議は、留萌管内で活
力ある地域や魅力ある観光
空間づくりに向け
て、様々な活動に取
り組んでいる。サイ
クリスト受け入れ環
境向上などをねらっ
たサイクルラックづ
くりを実施。また、
管内の維持業者であ
る維持ネットワー
ク協議会留萌支部の協
力のもと、道路。パ
トロールカーに自転
車用具と空気入れを搭
載し、サイクリストに無
料で貸し出している。

上映会は、サイクリスト
の受け入れ環境のさらなる
向上に向けて、サイクリ
ストたちが何を思い、何を考
え地域を訪問するかに
ついて、関係者で考え、共有
する機会とした。

西代表があいさつ。映画
について様々な視点で考
えることができること、同
会議についてサイクリスト
受け入れの取組を5年間続
けてきたことに触れ「いろ
いろな思いを巡らせながら
上映会を楽しんでほしい」と
呼びかけた。

引き続き、自転車日本
縦断ロードムービー「Sta
rt line」を上映。
映画は、生まれつき耳の聞
こえない今村監督が自ら被
写体となって、自転車で日
本を縦断する旅を記録した
ロードムービー。
沖繩から北海道宗谷岬ま
での3842キロ、57日間
の旅の中で数々の失敗や悪
天候、健聴者とのコミュニ
ケーションといった問題に
ぶつかりながらも前へ進ん
でいく姿が記録されてい
る。

「なぜ、サイクリストはオ
ロロンラインを目指すの
か？」を実施。手話通訳を
交え今村監督がいろいろ
道があつた中でオロロン
ラインを選んだこと、日本
縦断の旗を立てながら走行
したことでエールや飲み物
をもらうなどコミュニケー
ションのきっかけとなつた
ことなどを紹介した。

西代表は、映画での人々
との関りや今村監督の言葉
からサイクリストに対して
「どんどんコミュニケーション
を取った方がいいと思
つた」と話した。